緑のサポーター交流広場「みどりのカフェ」レポート

１１月２４日（土）**みどりのレッスン**を開催しました。

今回は、プランツギャザリストの鈴木達也先生から、
「花束のような寄せ植え！幸運のプランツギャザリング体験会」
をテーマに、ギャザリングについて学びました。

ギャザリング

　ギャザリングとは、愛知県の青木英朗氏が考案した植物苗を花束のようにして植える寄せ植えの技術です。
　寄せ植えとギャザリングの違いは、いくつかあります。

★寄せ植え

- 鉢に対し、植え込める苗の数に限りがある。
- 育つまで数ヶ月かかる苗もあり、植えてすぐは綺麗でないこともある。

★ギャザリング

小さな花束のようにします

- 小さな花束のようにして植えるので鉢に対して沢山の苗を植えることができる。
- 植えた瞬間から美しく、花期は寄せ植えで育てるのと同じ程度もつ。

ギャザリングには、次の材料を用意します。
- ベラボン（ヤシの実の殻を粉砕し、あく抜きしたもの）
- アート水苔（青木氏が考案したアクリル製のオリジナル糸）
- 水苔４Ａランク（長さが長いもの、ニュージーランド産が綺麗でオススメ）
- 綱木紋：つなきもん（天然素材で作られた植木鉢）
  ※今回は普通の鉢を使用しました。

　後半は、ギャザリングづくりに挑戦しました。用意した５苗の土を半分程度落とし、根をなるべく切らないように、いくつかに分けます。それを花束のように組み合わせて作成しました。
　みなさん、先生の説明を聞き、一生懸命に作成されていました。持ち帰られたギャザリングは半日陰の風通しのよい場所に置き、水苔が乾いたらバケツなどに水を張り、鉢を浸してしっかりと吸わせましょう。

鈴木先生

様々なデザインのものができました